



『ScanSurveyVC Ver.5』に新しく64ビット版ラインナップが加わります。
Windows64ビットOSでネイティブに動作し
4GB以上のメモリを有効に使用できます。

対象ラインナップ

ScanSurveyVC Ver.5で以下のラインナップを64ビット版にすることができます。

- SP
- EX
- 3DJT
- 3D
- 3DST
- 2DJT
- 2D
- 2DST

システム要件

OS:

- Windows7 SP1 64ビット版
- Windows8 64ビット版

メモリ:

4GB以上、8GB以上推奨

CPU,ストレージ,その他:

対象のOSが十分な速度で動作すること。

限界を超える。

Windows32ビットOSでScanSurveyVC Ver.5が扱えるメモリは2Gバイトでした。いくつものデータを開いたり大容量のデータを開いた場合にメモリ不足に陥る可能性がありました。Windows64ビットOSではOSが扱えるメモリは4Gバイトを超え、ScanSurveyVC Ver.5 64ビット版に割り当てられるメモリも2Gバイト以上です。これによりいくつものデータを開いたり大容量のデータを編集するのも可能です。

ScanSurveyVC Ver.5 64ビット版では従来のデータ量を超えた処理が可能です。

普及する64ビットPC。

Windows7登場の頃からPCに搭載されるOSも64ビット版が増えてきました。最近では標準で搭載されるメモリも4Gバイト以上が多くなっています。そしてWindows8の登場によりその傾向はますます強くなっています。しかし、せっかくの64ビット環境と大容量のメモリもアプリケーションが32ビット版のままでは宝の持ち腐れです。ScanSurveyVCを64ビット版にすることでパワフルなPC環境を十分に活かすことができるのです。

アップグレード。

32ビット版を64ビット版へアップグレードできます。アップグレードしたプロテクトキーは32ビット版でも64ビット版でもどちらでも使えます。また、1台のPCに32ビット/64ビット両方インストールし使えます。

互換性。

32ビット版のScanSurveyVC Ver.5データと64ビット版のScanSurveyVC Ver.5のデータは互換性があります。32ビット版で作成されたデータを64ビット版で開くのはもちろんの事、64ビット版で作成したデータを32ビット版で開く事もできます。

注意するのは64ビット版で作成されたデータが32ビット版で扱えるデータ量の場合に限るということだけです。

Viewer。

ScanSurveyVC Ver.5 64ビット版でもViewer版が提供(有償)されます。作成したデータは64ビット版Viewerを使い低コストで配布することができます。

株式会社ビーシステム

〒060-0809

札幌市北区北9条西3丁目10-1 小田ビル7F

TEL: 011-700-3100 FAX: 011-700-3103

www.be-system.co.jp